

【小学校算数 活用問題 小5 - 7】

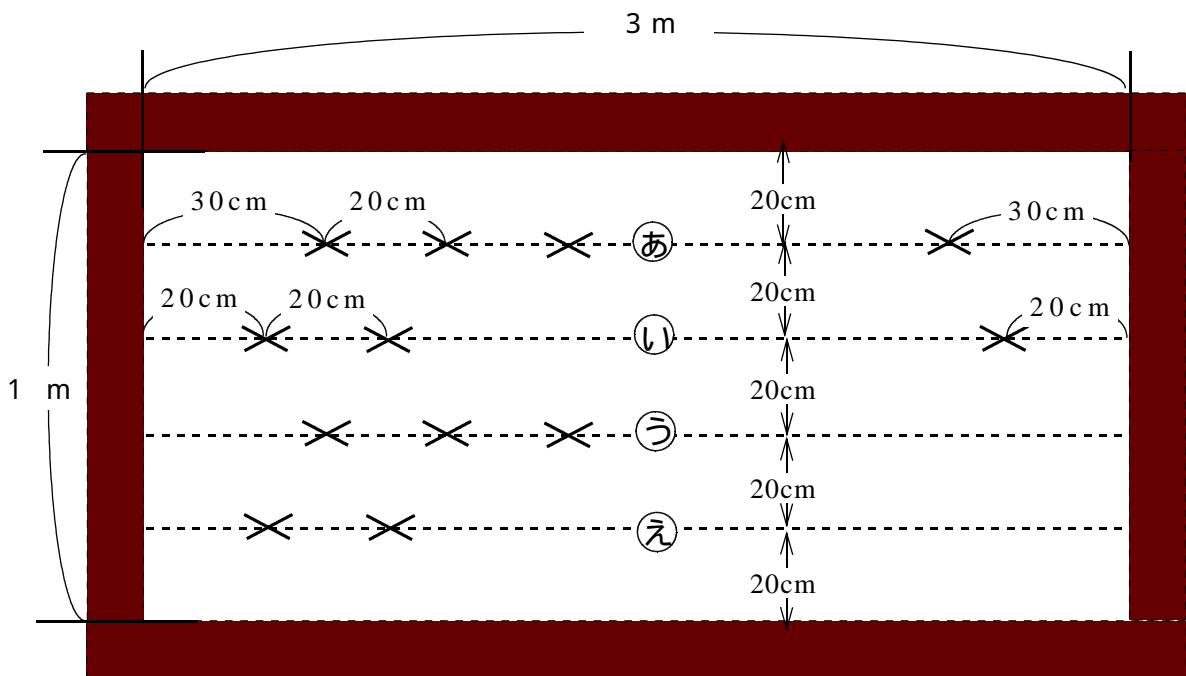
(単元評価問題関連：小3 -)

花だんに花のなえを植えよう	()組	氏
	()番	名

さとしさんのクラスでは、花だんに花のなえを植える計画を立てています。どのように植えるかをみんなで話し合い、花のなえの植え方を決めました。花のなえを植える花だんの広さは、たて1 m横3 mです。

「花のなえの植え方」

1. ①の列は植え始めと植え終わりに30 cmずつあける。
2. ②の列は、①の列と同じように植える。
3. ③の列は、②の列と同じように植える。
4. 花と花の間は、20 cmあけて植える。
5. 前の列との間は20 cmあけて植える。



さとしさんは、②の列の花のなえの本数を次のように考えました。



さとし

横が3 mなので、300 cm です。
 はじめと終わりに20 cmずつあけるので、
 $300 - 40 = 260$
 20 cm間かくで植えるから
 $260 \div 20 = 13$
 間の数よりも、なえの数は1多いので、
 $13 + 1 = 14$
 ②の列は14本植えることができます。

(1) 「花のなえの植え方」を使うと，この花だんに花のなえは全部で何本植えることができますか。
 さとしさんの考えに続けて，もとめ方を言葉や式を使って書きましょう。
 また，答えも書きましょう。


①の列は 横が3 mなので，300 cm です。はじめと終わりに 20 cm ずつあけるので， $300 - 40 = 260$ 20 cm 間かくで植えるから $260 \div 20 = 13$ 間の数よりも，なえの数は1多いので $13 + 1 = 14$ ①の列は14本植えることができます。

②の列は 横が3 mなので，300 cm です。
 はじめと終わりに30 cm ずつあけるので， $300 - 60 = 240$
 20 cm 間かくで植えるから $240 \div 20 = 12$
 間の数よりも，なえの数は1多いので $12 + 1 = 13$
 ②の列は13本植えることができます。

③の列は②の列と同じだから13本 ④の列は①の列と同じだから14本
 $13 \times 2 + 14 \times 2 = 54$

全部で 54 本植えることができる

まず、②の列に何本植えることができるかを求めます。



$240 \div 20$ で求められるのは、この部分ですので、間の数です。
 植えるのは、—|—|—|—|—|—|—|—|—|—|—|—|—|—|—|—|—| 赤の部分なので、間の数より1多くなります。

④に花のなえを植えるための時間を考えるのにかかる時間を下のように考えまし

花だんをたがやす時間・・・35分
 休み時間・・・・・・10分
 なえを植える時間・・・・25分
 水をかける時間・・・・8分

給食が12時15分からはじまるので，その5分前に終わるようにします。
 おそくとも何時何分に作業をはじめればよいでしょうか。

10時 52分